

## トピックス



大阪市北区天満橋1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 『水都おおさか森林の市2015』開催！

～2万人の来場で賑わう～



【森林整備部技術普及課】10月4日(日)、近畿中国

森林管理局及び毛馬桜之宮公園において、「水都おおさか森林の市・木づかい実行委員会」主催、「山の日制定記念 水都おおさか森林の市 2015」を開催し、約2万人の来場者で賑わいました。

今年は、平成28年から国民の祝日となる「山の日」制定の前年であることから、「山の日制定記念」と冠して開催いたしました。

「森林の市」は、森林の恵みや木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的として、毎年開催しているイベントで、今年で29回目を迎えました。

「大川端で森林を体感 森林から学ぼう 地球の未来」をテーマに、56団体の出展ブースが並び、さまざまな体験コーナーをはじめ、木製品や地域の特産品等が集まりました。また、国民の祝日「山の日」をPRするため、ヤマボウシなどの苗木の無料配布を行いました。

近畿中国森林管理局ブースでは、水源の森シオラマづくり体験や竹クラフト、小枝を磨く体験、木製家具・木

づかい展示、国有林の取組み紹介コーナーを設け、森林や木材利用について来場者に知っていただくとともに、



プログラムに参加して楽しんでいただきました。

また、「ミス日本 みどりの女神」の佐野加奈さんにご来場いただき、会場内を隈無く歩き木々と触れ合いながら、来場者の方々へ森林・林業・木材の魅力や素晴らしさをPRしていただきました。



「ミス日本 みどりの女神」の佐野さんの来場により、一層華やかな雰囲気にも包まれた会場内では、近年深刻化する獣害について理解を深めていただくため、狩猟用具や模擬銃が展示され、シカ肉の試食も提供されたほか、原木シイタケの炭火焼き体験や丸太切り、つるかご編み、木工クラフト体験、親子で椅子づくり体験ブースも人気を集め、世界に一つだけのオリジナル作品づくりに皆さん熱中されていました。



また、絵本の読み聞かせコーナーでは、大きな絵本の物語に子どもたちも絵本の世界に引き込まれ聴き入っていました。



さらにちびっこ棟上体験では子どもたちが大活躍し、上棟後には餅まきも行われ、子どもたちの笑顔があふれていました。



そのほか、大阪産ヒノキ床で積み木遊びができるコーナーや高知県産ヒノキの温かみのある木の玉を敷きつめた「木の玉プール」コーナー、苔玉づくり体験、箸づくり体験、測量技師体験、大川でのボート乗船体験など、さまざまなブースが多数出展され、子どもから大人まで一日ゆっくりと楽しんでいただけたようです。

来場者からは、「いろいろな体験を通じて、木のことが知れて良かった。」「ヒノキや木の香りが沢山して最高でした。」「初めての経験だったけどとても充実していました。来年もぜひ参加したいと思います。」等の感想をいただきました。



また、同時開催として近畿中国森林管理局大会議室において、森林や林業、木材産業で活躍する女性によるシンポジウムを開催しました。

近年はこの分野でも女性の進出が見られ、明るい話題の一つとなっていますが、昔から男性の職場であり、実際に従事された方は何かと苦勞も絶えないでしょうし、それが予測できるために、この世界に入ることをためらっている方もおられると思います。

また、行政としても何をどこからサポートすれば良いのか、ニーズがどこにあるのか把握困難なことから、この世界で長く活躍されておられる皆様方から若い方へのアドバイスをいただきたいと考え、開催したものです。



まずは基調講演として、大林恵子さん〈(有)坂東林業取締役・(一社)kikito 代表理事〉、堀川智子さん〈中国木材(株)代表取締役社長〉、湯川昌子さん〈大信製材(株)取締役社長〉、黒田慶子さん〈神戸大学大学院農学研究科教授〉、岡島敦子さん〈内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員 内閣府男女共同参画局元局長〉5名のパネラーから現在に至るいきさつや現在の活動状況についてご講演いただき、第二部にパネルディスカッションを行い、それぞれの立場でご意見いただきました。



また、会場からは女性としての悩み、社会人として仕事に取り組む際に必要な心構えなどの質問のほか、男性からの率直な意見も出て、盛況の内に幕を閉じました。

## ニュース

### 宮川源流・大杉谷の「木々とシカとの共生」を求めて!!

【三重森林管理署】近畿を代表する原生的な森林であり、大杉谷森林生態系保護地域を含む大台ヶ原一帯では、トウヒなどの樹木がニホンジカの食害を受け、森林の衰退が進んでいます。

三重森林管理署では、この貴重な森林を未来に向けて残していくために様々な事業に取り組んでいるところですが、その一環としてボランティアによる樹木保護作業を平成12年から毎年、実施しています。

今年度は、10月3日(土)に環境省吉野自然保護官事務所と共催で、公募で集まっていた23名の方々にニホンジカによる樹皮剥ぎを防ぐため樹木の幹1本ずつにネットを巻く作業をしていただきました。

天候の不安定なことで有名な大台ヶ原ですが、当日は年に何度あるかの晴天で、色づきはじめて紅葉のなか爽やかな汗をかいていただきました。

遠くは静岡県や大阪府、奈良県から応募いただいた参加者からは、

「初めての作業ですが、木の未来を想像しながらがんばりました。」「天気

が良く、現地までの散策も楽しかった。」などの声が聞かれました。



かれました。

今回のイベントでは、専門家による学習会も企画し、「国の取組がわかりやすく理解できた、頑張っしてほしい。」「ブナの話など、ただの散策ではわからないことを知ることができて良かった。」など好評でした。

現地への移動も含めて約5時間ほどのイベントですが、参加者達は慣れない作業に戸惑いながらも、秋を感じながら心地よい汗を流していました。約200枚のネットをすべて巻き終え、これで50本の木を未来へ引き継ぐことができます。

参加して頂いた皆さん「お疲れ様でした。また、来年もよろしくお願いします。～大台ヶ原の木々からのメッセージです。～



## 調査設計会社との技術検討会の開催 ～林業専用道開設の技術研鑽に向けて～

**【森林整備部 森林整備課】** 10月15日(木)、16日(金)の両日、和歌山県伊都郡高野町内の高野山国有林及び高野町役場会議室において、調査設計会社7社15名の方にご参加いただき、林業専用道開設に係る技術検討会を開催しました。

技術検討会では、3グループに分かれ、現地踏査しながら、①今後の森林整備事業予定箇所と作業システムを考慮した路線選定、②木材



集積場及び作業ポイントの考え方、③排水施設の設置箇所や設置方法、波打勾配による分散排水について、④路肩構造物の設置の考え方等について検討した後、各グループごとに路線設計の考え方の検討内容を発表し、森林作業道の取り付け方や林業専用道開設コストと集材・



搬出コストとの比較等について議論するなど活発な技術検討が行われました。

検討結果については、今後の林業専用道開設に係る測量設計の精度向上に役立てていく考えです。

## 治山工事（木製谷止工） 見学会を開催

**【広島北部森林管理署】** 10月2日(金)、釜ヶ峰山国有林（庄原市口和町）の治山工事箇所において、木製谷止工の現地見学会を開催しました。

この見学会は、平成26年8月の集中豪雨で下流の神社等に土砂の流出が発生し、今年度復旧を行っている工事箇所、治山工事への理解と公共土木工事への木材



かまがみねやま

だにどめこう

利用の推進を目的として開催したもので、地元住民、広島県、庄原市などから47名の参加がありました。

最初に、当署から昨年の被害の状況、工事の概要、工法選定にあたって、アベマキ等の保護林が施工地に隣接すること、周辺は、古くから霊山として、近年は「ふれあいの森」として活用されるなど地元住民との繋がりも深く、多くの人々に利用されている状況などから周辺環境にも配慮した工法となるよう、木製による谷止工を選定するに至ったことの説明を行いました。



また、工事請負者からは、今回初めて木製谷止工の施工を行ったこともあり感想として、コンクリートに比べて養生等が不要で施工が早くできる一方、丸太材の反りなどがあり調整するのに手間取ったなどの説明を、さらには、使用した資材（木材）のメーカーからは、資材（木材）の耐久性や安全性などについて説明を行いました。

広島県からは、公共土木工事に使用する木材に関連して、県内の公共土木工事への木材利用の実態や、小径木等の低質材がバイオマス燃料として流通し、小径木が不足している状況などの説明があり、小径木をめぐる近年の動きについての情報提供がありました。

参加者からは、「現地発生材や県産材を使って部材加工ができないか」「安全性や耐久性」などの資材に関する質問が多く出されました。

見学会終了時には参加者へのアンケート調査を行い、参加した多くの人から木製谷止工は「景観に優れる」との評価を頂くとともに、使用するには「強度・耐久性を確認して使用すべき」との意見も多く聞かれました。そのため、木製谷止工を施工するにあたっては、下流の安心・安全を図るためにも、景観のみならず施工場所等を十分検討し、可能な場所には整備したいと考えています。

当署管内では木製谷止工の施工は初めてで、今回の見学会を契機に、治山工事への理解と公共土木工事への木材利用の推進が図られ、当施工地が県北部の一事例地となればと考えているところです。



## 第2回国有林モニター会議（岡山県）

【総務企画部 企画調整課】 近畿中国森林管理局では、国有林について地域の皆様の理解を深めるとともに、双方向の情報・意見の交換を図り、ご意見やご要望を国有林行政に役立てることにより双方向の情報・意見の交換を図り、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的として、管内 84 名の方に「国有林モニター」をお願いしています。

10月16日（金）、管内の中国地方と兵庫県にお住まいの、12名のモニターの皆様にご参加を頂き、今年度第2回目の国有林モニター会議として、岡山森林管理署管内の釜谷<sup>かまたに</sup>国有林で行っている、高性能林業機械による木材の造材・搬出作業と、昨年度、列状間伐を実施した水昌<sup>すいしょうやま</sup>山国有林の現地見学会及び意見交換会を実施いたしました。



最初の見学場所である釜谷国有林では、プロセッサ、グラップル、スイングヤード、フォワーダによる木材の造材・搬出作業の見学を行いました。プロセッサによる枝払いや玉切りなどの迫力ある作業風景に、モニターの皆様も、大変驚かれておられたようでした。

また現場では、「このような作業風景を若い人達に見学してもらえれば、林業に従事する人も増えるのではないか」等のご意見を頂きました。

次に、昨年度、列状間伐を実施した水昌山国有林の見学を行いました。間伐の実施状況を見学して頂いた後に、間伐が終了した森林を見学していただいた事で、間伐による変化を確認いただけたと思っております。



現場では、「枝打ちは行わないのか」とのご意見を頂き、「近年は、節がない等の優良材ではなく、一般材の販売が主体であるなどから、枝打ちは行っていない」旨の回答を行いました。

その後、森林技術・支援センターで行われた意見交換会では、

- ・釜谷国有林における事業費はいくらくらいになるのか。
- ・切捨間伐については経済性優先よりも災害対策も含めて考えるべき。
- ・木質バイオマスにおいて生産側と工場側のバランス

に気をつけるべき。

- ・若い人達に林業という職業に興味を持ってもらいたい。
- ・環境教育は、知ることより、実際に見ることが大切だと思う。



等のご質問やご意見を頂き、活発な意見交換が行われました。

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望については、今後の国有林の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。

参加いただきましたモニターの皆様には、大変ご多用のところご出席いただき、貴重な意見等をうけ賜りましたことについて、紙面を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## BE-PAL FUN Hike in 大山

【鳥取森林管理署】 10月3日（土）、「BE-PAL FUN Hike in 大山！」が開催されました。

このイベントは、来年8月11日の「山の日」気運醸成に向けて、西日本を代表する名山である大山を広く紹介するために鳥取県が主催し、アウトドア雑誌「BE-PAL」による弥山山頂コース、元谷コースへのファンハイ



イク、ゲストを交えたトークショーなどのイベントが行われました。

当日は秋晴れの

下、東は東京、西は福岡から、約40名の参加者が集まり、大山の魅力を堪能されていました。鳥取森林管理署では、メイン会場内のブースと会場周辺の林間に森林の果たす役割や、大山の治山対策に関するパネルやパンフレットを展示し、PRタイムには、大正9年から続く大山の治山対策の歴史について紹介しました。



今後もこのような活動を通して、大山の魅力の発信と山の日に向けた気運を盛り上げていきます。



## 第11回六条ふれあいまつり 森林体験コーナー出展

【奈良森林管理事務所】 10月18日(日)、汗ばむほどの快晴の中、奈良森林管理事務所が所在する奈良市六条地区の六条小学校グラウンドにおいて、「第11回六条ふれあいまつり」が開催され、当所も森林体験コーナーとして出展しました。

「六条ふれあいまつり」は、子どもからお年寄りまで幅広い地域住民同士の交流とふれあいを深めるため、六条校区の自治連合会・社会福祉協議会・自主防災防犯会・民生児童委員協議会が主体となり開催しています。

当所も、第1回目からOF会の協力を得ながら参加し、地域の方々との交流を深めるとともに、地球温暖化防止への森林の役割や森林整備の重要性、治山工事による山



地災害復旧への取組みの紹介など、丸太切り体験や木工教室、パネル展示を通じて国有林のPRを行いました。

毎年、丸太切り体験

や木工教室は大盛況で、自分で頑張って切った丸太を材料に、ドングリや松ぼっくりなどを使って作品を作る子や、木の輪切りや木片などを上手に使い、大人もビックリするような作品を作られていました。

15時の閉会時間を過ぎても、丸太切りや木工教室を体験したい人たちがいて、お引取り頂くのに苦慮したほどでした。



このような場合は、国有林の存在を分かかって頂けるには、非常に重要な場であるので、今後も積極的に参加していく考えです。



## 平成27年度森林・林業交流研究発表会 開催

- \* 日時  
11月26日(木) 13:00 ~ 27日(金) 15:30
- \* 会場  
近畿中国森林管理局 大会議室
- \* 傍聴ご希望の方は、ホームページよりお申し込みください。  
HP: [http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/kenkyu\\_happyou.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/kenkyu_happyou.html)

## 森林のギャラリー(局庁舎1階)

### 【11月のテーマ：自由展示】

11/24 ~ 11/27 中之島木遊会グループ展

【中之島木遊会】

11/24 ~ 12/4 高槻の山を歩こう

【高槻里山ネットワーク】

### 【12月のテーマ：団体の取組紹介】

12/7 ~ 1/8 国産早生樹センダンの植林試験

【(公社)日本木材加工技術協会関西支部・早生樹植林材研究会】

## 花草木

今月の花草木は「しょうが(ジンジャー)」です。

ショウガはショウガ科の多年草で、野菜として食材に、また生薬として利用されています。

インド原産で、晩夏から秋にかけて、背の高い大きな花が咲きます。色は白、オレンジ色などですが、白花のものがベーシックなジンジャーで、そこから、背の高いオレンジや黄色などの花のものが、改良して作られたとのこと。

英名ジンジャーは、白い百合(ゆり)のような色の花の様子から「ジンジャーリリー」と呼ばれ、しだいに「ジンジャー」に短縮されたといわれています。

生姜風味の炭酸飲料に「ジンジャーエール」があります。葉っぱも細く長く伸び、白い花はすごくいい香りがし、くちなしの香りに似ています。

キューバ、ニカラグアの国花で、花言葉は「豊かな心」です。

似ている花「鬱金(うこん)」 似ている葉「茗荷(みょうが)」